

令和3年11月9日

## 令和3年度モーダルシフト取り組み優良事業者の受賞者を決定 ～大賞は鈴与株式会社、鈴与カーゴネット株式会社～

(一社)日本物流団体連合会(池田潤一郎会長)は、「モーダルシフト優良事業者選定委員会(委員長:竹内健蔵 東京女子大学教授)」を開催し、「モーダルシフト取り組み優良事業者公表・表彰制度」の受賞者を決定した。

モーダルシフト最優良事業者賞(大賞)には、鈴与株式会社、鈴与カーゴネット株式会社の2社による『食品等の海上輸送へのモーダルシフト』が選定された。社内体制としてモーダルシフト専門部署を整えたほか、トレーラーシャーシ台数の増車や複数種類のシャーシバリエーションを整備するなど、モーダルシフトに柔軟に対応できる体制構築が高く評価された。

物流連では、平成15年より、モーダルシフトに積極的に取り組む物流事業者を会報等で公表してきたが、平成26年度より優良事業者の表彰を中心とする制度へ移行しており、表彰制度としては8回目の実施となる。

本制度の趣旨は、物流業界における環境負荷低減と労働生産性向上の観点から、大量輸送機関を利用した輸送の重要性が増している状況のもと、他の模範となる取り組みを行っている物流事業者を表彰するとともに、その取り組みを広く社会に紹介し、モーダルシフトを更に促進しようとするものである。

各応募案件は「モーダルシフト優良事業者選定委員会」にて審議の上、17件17社が優良事業者として選定された。

表彰式は、11月25日(木)14時00分より、海運クラブにて開催される。

以上  
事務局 細野

# 令和3年度モーダルシフト取り組み優良事業者 公表・表彰の概要

## 1. モーダルシフト最優良事業者賞（大賞）

被表彰者：鈴与（株）  
鈴与カーゴネット（株）  
功績事項：食品等の海上輸送へのモーダルシフト

鈴与（株）、鈴与カーゴネット（株）は、食品や飲料、建材など多岐にわたる品目の輸送について、複数区間でトラック輸送から海上へのモーダルシフトを実現した。本取り組みにより、トラックによる輸送距離が大幅に短縮され、CO2排出量を削減するとともに、トラックドライバーの運転時間についても年間10,000時間以上の削減に成功した。

モーダルシフトに際しては、社内体制としてモーダルシフト専門セクションを整え、空走距離が発生しにくい営業所配置としたほか、トレーラーシャーシ台数の増車や、複数種類のシャーシバリエーションを整備することで輸送品目に合わせた最適な運び方を実現。環境負荷低減や安定的な輸送の実現に対して範となる取組みとなっている。

## 2. モーダルシフト取り組み優良事業者賞

### ① 実行部門（4件）

被表彰者：フェリックス物流（株）  
功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%超を達成

被表彰者：山九（株）  
功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%超を達成

被表彰者：日本石油輸送（株）  
功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%超を達成

被表彰者：日本通運（株）

功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%超を達成

フェリックス物流（株）、山九（株）、日本石油輸送（株）、日本通運（株）は、幹線区間における貨物総輸送量のうち鉄道・海運の利用比率が40%超を達成した。

## ② 改善部門（1件）

被表彰者：センコー（株）

功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%を超えるとともに、前年度を1%以上上回る実績を達成

センコー（株）は、拠点間の幹線区間における輸送量について、トラックの割合を減らし、鉄道・海運の割合を一層向上させた。令和元年度における実績が全輸送量中70.0%であったのに対し、令和2年度においては74.9%を達成し、前年度と比較し、モーダルシフト輸送比率の改善を実現した。

## ③ 有効活用部門（8件）

被表彰者：濃飛倉庫運輸（株）

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

濃飛倉庫運輸（株）は、滋賀県から関東・東北方面へのフィルム製品の輸送について、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトを実現した。

モーダルシフトに際しては、パレット上より荷物がずれることがあったが、荷主の協力を得て固定具の取り付けをしてもらうなど固縛方法を工夫し、安定的な輸送を実現した。

なお、昨年度からは鉄道輸送比率を大幅に向上させており、鉄道利用率は対前年度比で約2倍に増加、CO2排出量の削減効果およびドライバーの負担軽減を実現した。

被表彰者：日本通運（株）

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

日本通運（株）は、愛知県から岩手県へのウレタン製品、ゴム製品の輸送について、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトを実現した。

従来、長距離トラック輸送していた3社に鉄道輸送への転換を提案し、共同輸送によるモー

ダルシフトを実現したことで、CO2 排出量を削減したほか、ドライバー運転時間を年間 1,500 時間程度削減することに成功した。

また、これにより、自動車部品専用列車の余席部分に荷物が積載されることになり、物流の効率化を実現した。

被表彰者：佐川急便（株）

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

佐川急便（株）は、関東～九州間の雑貨（品目多数）の輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

関東九州間のモーダルシフトでは、2018 年 7 月から東京～苅田航路を、さらに 2021 年 7 月からは新たに就航した横須賀～新門司航路を利用開始し、本取り組みによって CO2 排出量を削減したほか、年間 13,000 時間以上のドライバー運転時間の削減に成功、環境負荷低減およびトラックドライバーの負担軽減効果の大きな取組みとなっている。

また、大雨等による JR 線一部不通の際には、輸送モードの複線化による BCP 対応も可能とした。

被表彰者：（株）ロジスティクス・ネットワーク

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

（株）ロジスティクス・ネットワークは、北海道から福岡県への冷凍食品の輸送について、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトを実現した。

北海道と福岡県間における鉄道を利用した往復輸送において、コンテナの空回送が発生しないルート設計とすることに拘り「7 日間のフルラウンド輸送」に成功。CO2 排出量の削減効果およびドライバーの負担軽減を実現した。

モーダルシフトに際しては、トラック輸送から鉄道輸送に切り替え、中継拠点を通らないことにより輸送リードタイムを 1 日短縮することに成功した。これにより、拠点での基準在庫数の見直しが可能になったほか、出荷曜日と入荷曜日が休日にあたることがなくなり、出荷日調整が不要になった。また、福岡県から北海道への片道輸送時は 12ft 冷凍コンテナ輸送であったが、物量を集約して 31ft 冷凍コンテナに切り替えることでさらなる物流効率化を実現した。

被表彰者：センコー（株）

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

センコー（株）は、2 件の海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

1. 北海道から西日本エリアへの酪農機器のモーダルシフトに際しては、兵庫県と福岡県にストックポイントを設置して納入日が近いものを集約し、RORO 船を活用した無人航走により、年間 78%の CO2 排出量を削減したほか、年間約 800 時間ドライバー運転時間を削減することに成功した。
2. 長野県から北海道へのジェットヒーターのモーダルシフトに際しては、従来はメーカー倉庫（栃木）を中継した複数ルートの陸送であったが、需要地近隣（北海道）への物流拠点設置による単一ルート化、並びに大型トレーラーでの海上輸送への切り替えにより、既存運用に対して年間 30%の CO2 排出量を削減したほか、年間約 1,200 時間ドライバー運転時間を削減することに成功した。

被表彰者：(株) ランテック

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

(株) ランテックは、宮崎県から関西地区へのプロイラーの輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

モーダルシフトに際しては、出荷曜日の固定化や定期数量の対応等について各荷主と協議を重ね、15m冷凍セミトレーラーを活用した無人航走により、CO2 排出量を削減したほか、年間 3,000 時間程度ドライバーの運転時間を削減することに成功した。

被表彰者：(株) 日立物流

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

(株) 日立物流は、ユニ・チャームプロダクツ (株) 九州工場の生產品輸送を、トラック輸送から海上輸送へモーダルシフトを実現した（福岡県→埼玉県向け）。

モーダルシフトに関しては、日立物流グループの (株) バンテックと協創し、トラック輸送と同等のリードタイムを維持。本取り組みにより、CO2 排出量の削減（78%削減）およびドライバーの負担軽減を実現した。

また、当該輸送は日産自動車 (株) の部品輸送復路部分を活用することでラウンド輸送を推進、物流の効率化を実現した。

被表彰者：明治ロジテック (株)

全国通運 (株)

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

明治ロジテック (株)、全国通運 (株) は、大阪府から北海道への食品の輸送について、

トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトを実現した。

モーダルシフトに際しては、18℃の定温を保持できる 31ft 温度管理コンテナを活用し、安定的な輸送を可能とした。また、稼働当初、鉄道輸送は週 1 回のみの運行であったが、今年 3 月より週 2 便に増便し、さらなる鉄道モーダルシフトによる CO2 削減およびトラックドライバーの負担軽減を実現した。

#### ④ 新規開拓部門 (3 件)

被表彰者：山九（株）

(株) サンキュウ・トランスポート・関西

功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続

山九（株）、(株) サンキュウ・トランスポート・関西は、佐賀県から静岡県への医療部材の輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

環境対策の一環として RORO 船による海上輸送を提案し、荷主である日機装（株）に出荷受入の荷量調整してもらったほか、トレーラーシャーシを活用することでトラック 2 台分の物量を 1 回で運ぶことが可能になり、CO2 排出量の削減およびトラックドライバーの負担軽減を実現した。

被表彰者：(株) 日陸

功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続

(株) 日陸は、群馬県から北海道への化学製品の輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

長距離トラック輸送から海上輸送へ転換することで、ドライバーは日帰り運行が可能となり、CO2 排出量の削減およびトラックドライバーの負担軽減を実現した。

被表彰者：日産物流（株）

功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続

日産物流（株）は、富山県から島根県、山口県への化学製品の輸送について、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトを 2 件実現した。

モーダルシフトに際しては、リードタイムの調整など各者と協議を重ね、鉄道モーダルシフトを実現し、CO2 排出量の削減およびトラックドライバーの負担軽減を実現した。

以上